

# 掲載海外安全対策情報

## (定期報告:平成27年度第3四半期)

在エチオピア日本国大使館

### 1. 社会・治安情勢

当局は、テロを企てたとしてアル・シャバーブ分子を逮捕するなど、テロ対策の強化を継続している。テロの標的となりやすい市内の高級ホテルやレストラン、政府機関等も警戒レベルを上げている状況にある。

### 2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当地においては、日本人を含む外国人を狙った強盗や窃盗事件が発生している。主な手口は次のとおり。

#### (1)強盗事件

邦人被害は認められないが、アディスアベバ市内においては強盗事件が発生している。暗くなってからの徒歩での移動を控え、車で移動すること及び自宅からの移動ルートを毎日変更するなどして、犯行動機の抑制に努める必要がある。

#### (2)窃盗事件

邦人被害を含め市内の全域において少年らによるスリが発生している。複数の少年が歩行者に近づき、雑誌を売る素振りや、服に唾をかける等して、一人が気を引いている間に、他の少年が歩行者のポケットから携帯電話機や財布を窃取する手口が認められる。

#### (3)ぼったくり事件

邦人被害を含め、市内において、ぼったくり被害が発生している。旅行者が、滞在ホテル周辺を徒歩で移動していると、エチオピア人が話しかけてきて、「自分はこのホテルの関係者だが、いい飲食店を教えようか。」と近づいてくる。「ホテルの関係者」と言われて、安心してしまい、勧められた飲食店に入り、注文すると、高額を請求される手口が認められる。

### 3. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

#### (1)殺人

邦人被害の届け出はない。

#### (2)強盗等

邦人被害の届け出はない。

#### 4. テロ・爆弾事件発生状況

2015年12月11日午後1時ころ、アディスアベバ市内のマルカート地区に所在するグレート・アヌワル・モスク(Great Anwar Mosque)内において手榴弾が爆発し、エチオピア人十数名が負傷した。

#### 5. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の届出はない。

#### 6. 自然災害発生の事例

国内において大きな災害は発生していない。

#### 7. 対日感情

対日感情については、問題ない。

#### 8. 日本企業の安全に係わる諸問題

特になし。